

様式第3号

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)	川 西 市 社 会 教 育 委 員 の 会		
事 務 局 (担 当 課)	生涯学習部 社会教育課 (内線 3421)		
開 催 日 時	平成18年5月24日(水)10時00分~12時00分		
開 催 場 所	川西市役所 5階 502会議室		
出 席 者	委 員	小柳副議長、敷地委員、佐道委員、武村委員、生田委員、 十河委員、足立委員、牛尾委員 計8名	
	その他		
	事務局	雪岡中央公民館長、浜田生涯学習センター所長、横田主幹 山川課長、小笠原主査 計5名	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会 議 次 第	1. 報告 1) 阪神北地区社会教育委員協議会 第一回理事会について 2. 議題 1) 平成18年度の年間テーマについて 3. その他		
会 議 結 果	別紙のとおり		

平成18年度「川西市社会教育委員の会」年間テーマについて

(小柳副議長)

「川西市社会教育委員の会」年間テーマについて、どのように考えたらよいか。

(敷地委員)

阪神北地区社会教育委員協議会第1回理事会で18年度の研究テーマに上がっている「地域教育を支援する人づくり」ということからいくと、「よりよい教育システムづくり」「支援する人づくり」というこの枠をとった表題がテーマだと思う。

(小柳副議長)

ひとつ進んでこのシステムをどう動かすかというとき、当然人が課題となる。ここで森議長からのメールを紹介する。

青少年の居場所をさらに具体的に進めるためには、その地域においているんな分野でのリーダーづくりが不可欠だと考えるので、地域教育を支援する人づくりをテーマに進めていくことを提案したい。

(佐道委員)

人は大事だと思う。人を繋げていくことを何か形にできればいいと思う。

(生田委員)

地域教育を支援する基礎づくり、人と人との関わりの場をいかに構築し、強めていくかを一緒に研究し、提言なり、発信をするひとつの場になればと思う。高齢者の活躍も社会教育の場面の中で発信できたらいいと思う。学校もニーズが多いと思うので、論議が出来たらいいと思う。

(足立委員)

「学校施設を開放して下さい」という意見があり、いずれ実施していかなければいけないと思う。学校は学校の中で、年間のカリキュラムをやっていくことと、その中に地域の行事を組み込んでいくことによりうまく運んでいければと思う。

* 主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

(牛尾委員)

公民館で活動している自主グループの方々の発表と、若い親と子どもたち(小・中学生) 勤労者層などを繋いでいくようなことができないか。出前講座という形でもいいのではないか。これらを考えながら、「支援づくりの人づくり」に繋げて行けたらと思う。

(小柳副議長)

公民館での活動をどう活かしていくか。公民館での研修のあり方、登録グループの研修に繋がって行けたらと思う。

(十河委員)

いろんな悲しい事件があったときに、ここでお母さんがちょっとお友達があったら防げたかもしれないと思うと、いろんなシステムがあるけれどもそれを繋げる術がもうちょっとできてきたら、もっともっといい町になっていくだろうなと思っている。テーマとして「地域教育を支援する人づくり」ということでは、人達の繋がりづくりが大事ではないかと思う。

(武村委員)

これまで1年間討議してきた「よりよい地域教育システムづくり、青少年の居場所を求めて」これが具体的にどうなっていくのか興味がある。

これを具体的にやっていくにはこのテーマの「地域教育を支援する ”人づくり ”」ということで、もう一歩だけでも中に入って一年間お話ししていくべきではないかと感じている。 また、社会教育委員が論議した「よりよい地域教育システムづくり」の発信を教育委員会からしてもらい、具体的に内容を深めて行けたらと思う。

学校協力委員も形としてはいいが、ただ地域の人達が本当にこの内容を理解しているかどうか、朝、学校の子どものために立っている人たちが、学校協力委員とか地域のコミュニティ推進協議会とかこの方達の目的、皆さんが違う想いでやっておられると感じるところもあるので、皆さんが同じ想いでやっていけるように具体的に考えて行けたらと思う。

* 主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

(小柳副議長)

テーマについては、基本的には「地域教育を支援する人づくり」という方向でいいと思うが、各委員のお話を伺っていくと、やはり「人づくり」と言うのではなく、「繋げていく」という言葉を入れたほうがいいような気がする。テーマはこれでいいと思うが、テーマを見てしまうとそこからイメージが広がるので、何かもう少し繋がってくる方法について、今まで経験をされたことがない方はそれをきっかけに、やってらっしゃる方はやってらっしゃる方で繋がって行く方向を考える。言葉だけのことだが、「繋がり」というものをいれたほうがよりイメージしやすく、他の方にそれを見せた時にも、その「繋がり」というものを理解してもらえらると思う。

(佐道委員)

繋ぐというのは知り合いになっていくこと。

(小柳副議長)

繋がるというのも、違うセクター同士では難しい。

(佐道委員)

みんなひとつの箱の中にはいていて、その中でごそごそやっている。そこを出てやっついていかないと繋がらない。外へ出ていかないと広がらない。みんなと顔見知りになるうとしたら、そういうふうに出ていかないと出来ない。一つ外にでるだけで、10倍くらい世界が広がるということになる。

全然何もやっていない方は出方がわからないと思う。それをなにかうまく皆さんに伝えられるようなものができればいいと思う。

(敷地委員)

地域や学校などで何々委員さんを十年やっついていても、何々委員さんですと紹介されても、子どもたちには知られていないことがある。個人的な動きで動いているなという感じがする。それぞれ地域によって違うのだから、地域の中で名前だけでなく子どもたちが「あのおっちゃん」と自然と称えてくれるような形を我々がいかにして探していくかというのが一番大きな課題だと思う。どちらかと言えば、理想的な言い方だが、最近私自身が感じたのは、安全委員として登下校の時に立っているが、同じところに立つようにする。そしたらそこに帰って来る子どもたちは最近「おっちゃん有難う」という声を出してくれるようになった。そしてどこかで会っても「こんにちは」と声をかけてくれるようになった。学校へ行き紹介されたときに、子どもたちが「あの人が知ってる！」と手をたたいてくれたときに地域と学校が一体化するのではないか。

* 主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

(小柳副議長)

一体感を持って、それが次に繋げていくということになる。テーマとして言葉を決めたい。そして、最終目標をいずれ決めないといけない。

(敷地委員)

「地域の教育システムづくり」で「地域」といれたら、川西全部が一つの地域になるので、実行可能な範囲内の「地域」というのをサブタイトルとしてあげたらいいのではないかと思う。

(小柳副議長)

確かに「人づくり」があって、それぞれの地域によって事情が違うので、それぞれの地域がどのようにやっているかということ和社会教育委員として調査した上で提言の中にとりこんでいくという方向もある。

(牛尾委員)

サブテーマのことをおっしゃったが、今年一年公民館を核に地域教育を考えれば学校教育も社会教育も全部はいつている。公民館を核にした何か学舎融合のような活動が、芽がでてそれが繋がっていければよいし、それだけで終わるのではなく、もっとやりたいなという方々の為にそういったことができるような提言なりができればと思う。

(敷地委員)

公民館等の行事を通じ子どもたちが参加して発表の場があると、その家族のおじいちゃんおばあちゃん等、家族の中でのコミュニケーションをよくすることになる。そのためにも参加及び呼びかけを行う。

各団体やグループが行動している想いをアピールして、地域の人々の関心を高め、家庭・地域・公的機関・各種団体が横の連携を密にし、各々の役割を果たすため地域の人々とのコミュニケーションを高める努力が必要と思う。

このことから、「支援する人づくり」をテーマとしてよいと思う。

* 主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

(小柳副議長)

作るというか、自ら育って行って社会貢献活動に関わっていくというか、でも今参加していない人がどうしたら一步踏み出せるかといったことを考えていきたい。

「人づくり」にしてしまうのは私もちょっと抵抗がある。阪神北のほうではそれでいいのではないかという話であった。最後の文言については三田市の担当の方で最終的に「人づくり」という言葉に決められた。具体的に人をどう繋げたいか、繋げていくか。

今日、この場でまとめることは難しい。後日、議長に報告したい。

(雪岡中央公民館長)

「よりよい地域教育システムづくり」というのはそのままにして、サブタイトルの「青少年の居場所を求めて」という文言を、「支援の輪の広がりを求めて」などに変えてはどうか。

(小柳副議長)

人の関わりという文言を含めて、最終的に仕上げるということによろしいか。

会として論議の年間計画を決めておいたほうがよいのでは。一年間の論議をまとめ、提言として発信していくということ。

(生田委員)

社会教育委員の会の報告を校長会でされたという経験がこの10年近くの間には1, 2回しかない。是非やっていただきたい。

(敷地委員)

学校の校長会に問題点を提案し、協議してもらえるのか。また、我々が校長会を公聴させてもらうことは可能か。

(牛尾委員)

自主校長会の中ではいくつかのテーマにしぼって論議するが、こういうことでぜひ校長会で話しをしてほしいというのであれば論議ができる。社会教育委員にお越しいただき、お話ししていただいた後、質疑応答をしてもらうことができる。

(小柳副議長)

今年の1月に教育委員の方と懇談をしたが、今年度もぜひ実施できたらと思う。

* 主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

(山川社会教育課長)

その点については、来年の1月24日予定の社会教育委員の会の際に実施できるように調整していきたい。

(小柳副議長)

最終的なテーマには至らなかったが、各委員のお話を伺えたので、議長に伝えテーマの決定へと進めていきたい。これにて閉会する。

* 主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。